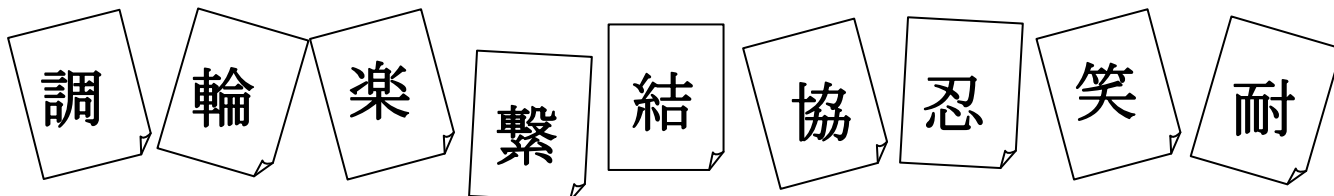


みいよく通信



★第1回地域コーディネーター研修会が開催されました！



平成29年7月26日（水）、宇都宮大学 UU プラザ 2階コミュニティフロアにおいて、主に新任者や経験の浅い地域コーディネーターを対象とした標記研修会(市生涯学習課、魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催)が、36名の関係者の方の参加を得て開催されました。

当日は、「まちづくり」や「地域活動」に精通している宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科准教授 石井 大一郎先生を講師に迎え、「実践！ナナメの関係づくり～つながる・ひろがる・ネタさがし！～」と題して、豊富なご経験から、事例等を交えてご講義いただき、地域づくりコーディネーションの要素やボランティアマネジメントを行う上で大切な視点等のお話をいただきました。

さて、皆さん、冒頭の一文字は何のことかお分かりでしょうか。参加者の皆さんに「いま、地域コーディネーターとして大切にしていること」を漢字一文字で表わしていただいたものです。全ての文字を紹介できませんが、それぞれの文字には理由・思いがあり、参加者で楽しく共有しました。

あなたなら、どんな一文字を選びますか。

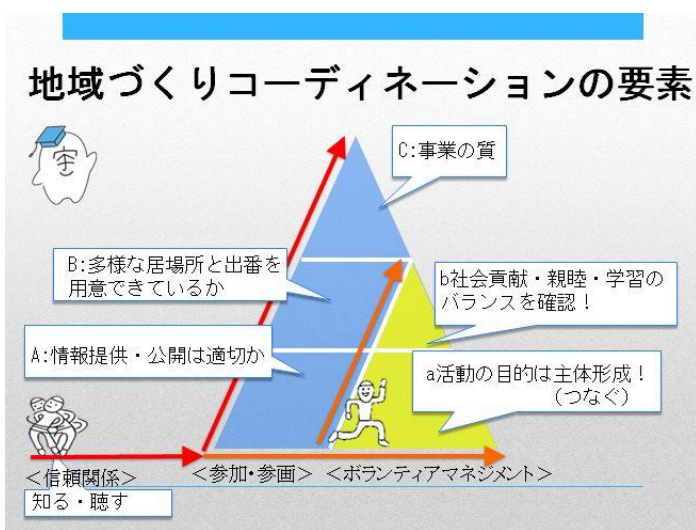
【石井先生の講義より】



ゆる
聴す ことから始めましょう。

課題解決より主体形成！

いつものメンバーによる、いつものつながりでの議論には先がない！一緒に「話し合う人」を増やしていく視点が大切！



例えば、自治会役員さん3人で急いで課題解決するよりも、目標を3年後に解決することにして、メンバーを増やすことを今の目標にしたほうがよいですね。今、これができないと3年後にまた同じ3人が同じ悩みを抱いたままになってしまいます。

地域コーディネーター活動も同じではないでしょうか。

★子どもや地域を元気にする！事例紹介・・・地域の実態に応じてアレンジ可能！いかがですか？

だがしや楽校



尚綱(しょうけい)学院大学 特任教授の松田 道雄氏が、発案・提唱・実践されている地域活動の手法の一つです。

主に子どもたちが放課後や土・日曜日に、地域の行事やイベント等で自分のお店(自分見せ)を出す活動として始まりました。

ルール

自分の得意なこと・好きなことを「できる範囲」で「お店」(自分見せ)として展開し、来場者や他の出店者との交流を図る。
(子どもから地域の高齢者まで、幅広い世代で実施・応用可能)

メリット

子ども同士や地域の大人とのかかわりの中(ナナメの関係)から、学校の授業だけでは学べないことも学べる「自由な学び場」。活動を通して、子どもたちの自立心や社会参加意識の醸成を図ることができると考えられている。

ちなみに、講師の石井先生によると、「私も実践してみて、うまくいかなかったことはありません！子どもたちの新たな一面や生き生きとした表情が見られます」とのことです。

活動例

手作り・体験・販売「みせ」系

- ・マイバック作り
 - ・わりばし鉄砲作り
 - ・折り紙や紙飛行機作り
 - ・はりがねアプローチ作り など
- ゲーム「みせ」系
- ・輪投げ
 - ・あてくじなどの景品遊び
 - ・豆うつし競争 など

★グループディスカッションの様子 ～地域コーディネーター5か条を考える～



最後に、講義や情報交換を踏まえ、各グループで、今後の地域コーディネーターの役割や大切にしたいことを5か条で整理しました。各グループから一つずつご紹介します。

- ・居心地のいい場所づくり
- ・自分たちも楽しむこと
- ・心を広く視野も広く
- ・活動内容を吟味
- ・継続した関わりをもつ
- ・きちんと発信すること
- ・感謝の気持ちを大切にする
- ・仲間を増やして長生きする
- ・子どもの意見も取り入れる



★おわりに

例年、第1回目の地域コーディネーター研修は、事例発表が中心でしたが、これまでの皆様からのご意見を参考に、少し形式を変えて新しいスタイルで実施しました。右の写真は、研修終了後に石井先生の提案で学食ツアー?!が開催され、構内を歩いている様子です。多くの方が参加され、有意義な時間となりました。

次回の研修は、10月を予定しています。期日・内容が決定いたしましたら、各小中学校を通してお知らせいたしますので、積極的なご参加をお待ちしております。

